

## ■EU：欧州委員会が2050年排出削減目標など「欧州グリーンディール」を公表

欧州委員会のフォンデアライエン委員長は2019年12月11日、2050年の温室効果ガス排出削減目標を含む環境を中心とした産業政策である「欧州グリーンディール」（EGD：European Green Deal）を発表した。EGDは2019年7月にフォンデアライエン氏が委員長に選出された際に、優先政策として骨格が示されていたが、今回その具体的な内容が明らかになったもの。最も注目されるのは、2050年の温室効果ガス（GHG）排出削減目標として「ネットゼロ」を掲げあらゆる産業政策を見直すとしており、2020年3月までに「Climate Law」を提示することになる。また2030年のGHG削減目標も現行の40%から少なくとも50%、可能であれば55%まで引き上げるとして、2020年夏までに包括的な削減計画を提案する。GHG削減目標引き上げにあわせて、域内の産業を保護する目的で炭素税の国境調整を行う方針で、2021年に具体策を提案することになる。さらに2020年1月に排出削減が困難な加盟国や産業に対する支援（1,000億ユーロ：約12兆円）の活用について具体化させる予定である。